

榛原地域 小学校の統合に関する アンケート調査 結果報告書【確定版】

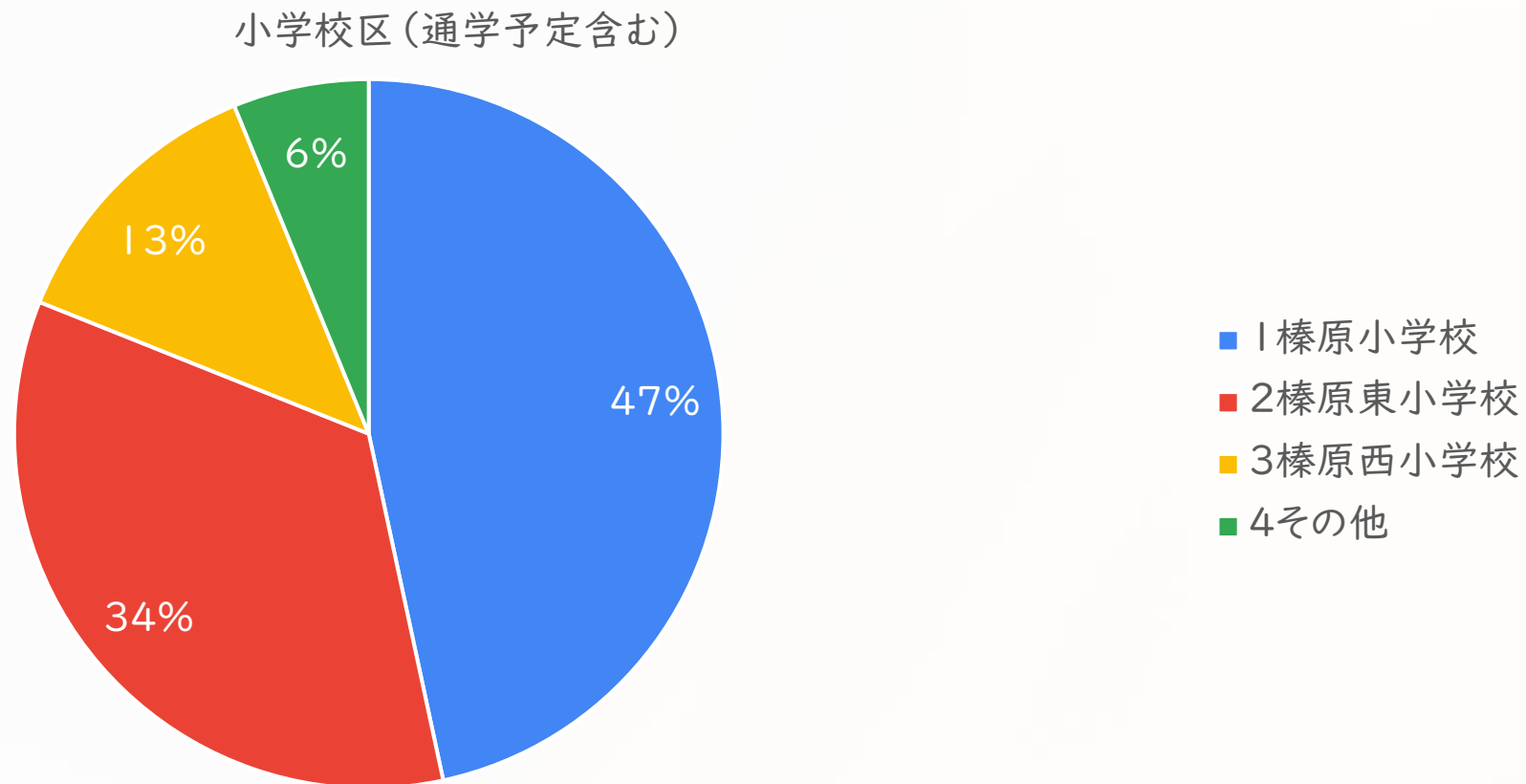
令和8年(2026年)7月 | 宇陀市教育委員会

アンケート回収状況と回答者属性

対象区分	配布数	回答数	回答率 (%)	主な該当校区構成
保護者	829	549	66.2%	未就園児 しらゆり保育園、榛原こども園、 榛原小、榛原東小、榛原西小

現在、通学している（通学予定）の小学校

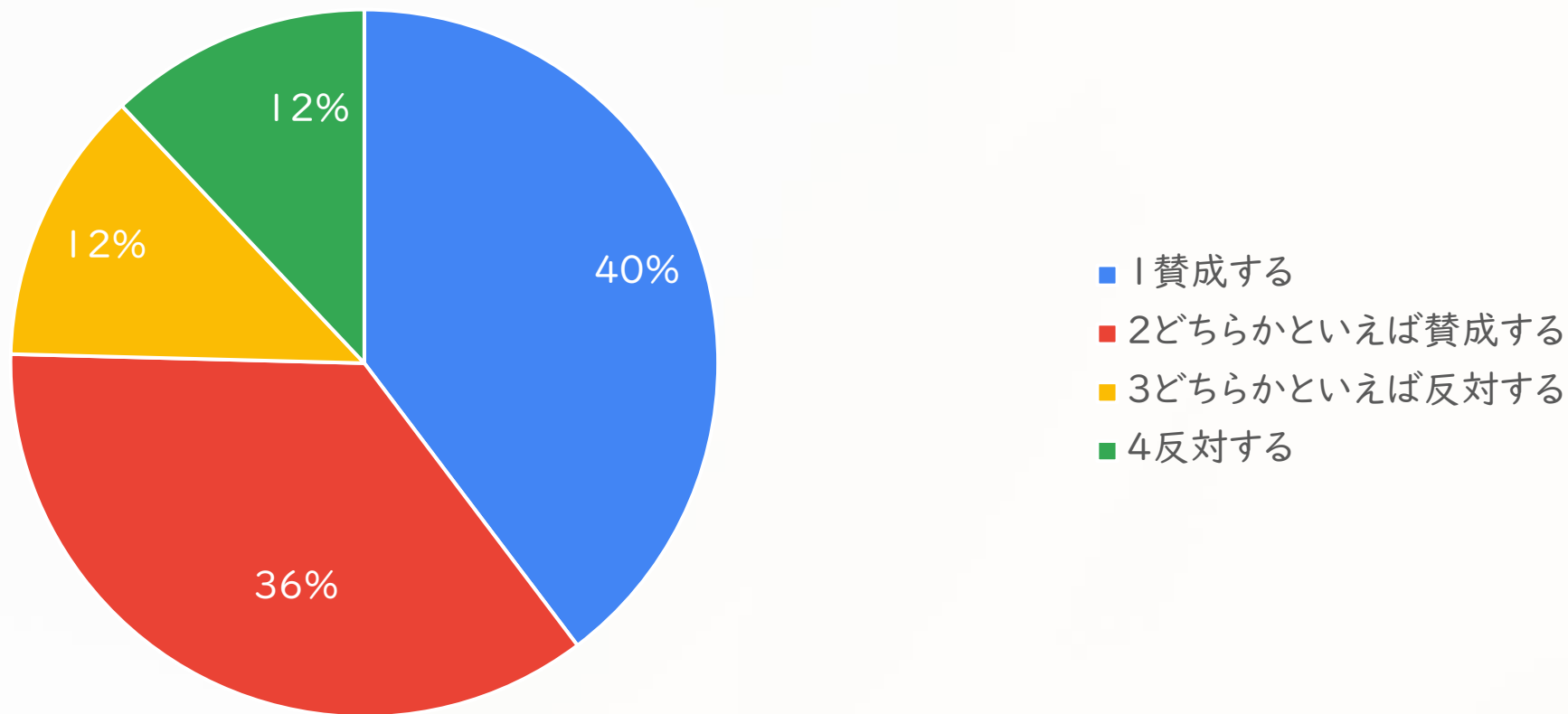
現在、お子様が通学されている（通学予定）小学校はどこですか。



統合に向けた全体的な賛否の結果

小学校を1つに統合する方針について、あなたはどのように感じていますか。

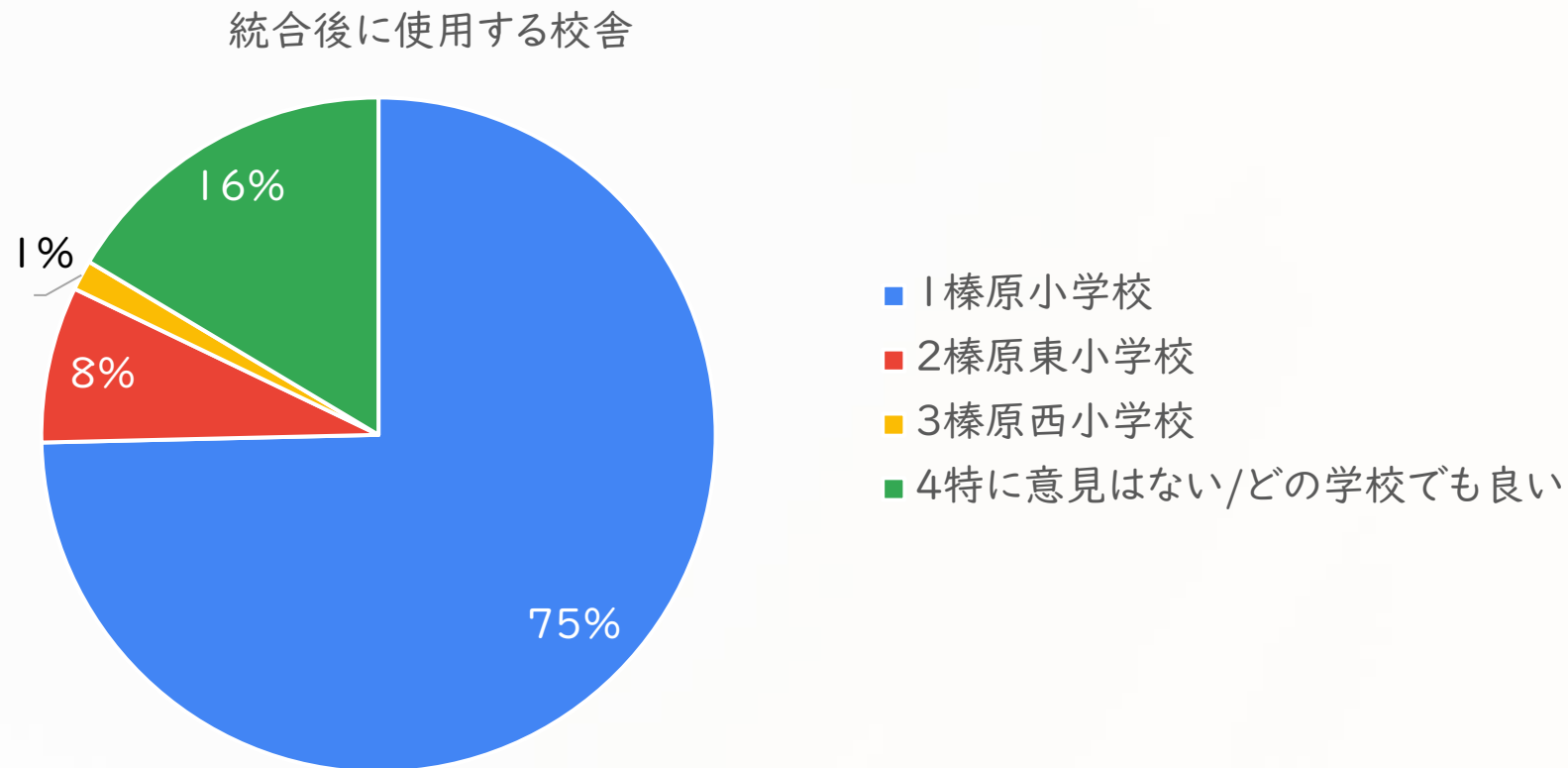
統合に関する賛否



全体の76%が、小学校を1つに統合することに肯定的な意向

統合後に使用する校舎について

統合後に使用する学校（校舎）について、どの学校が適していると思いますか。

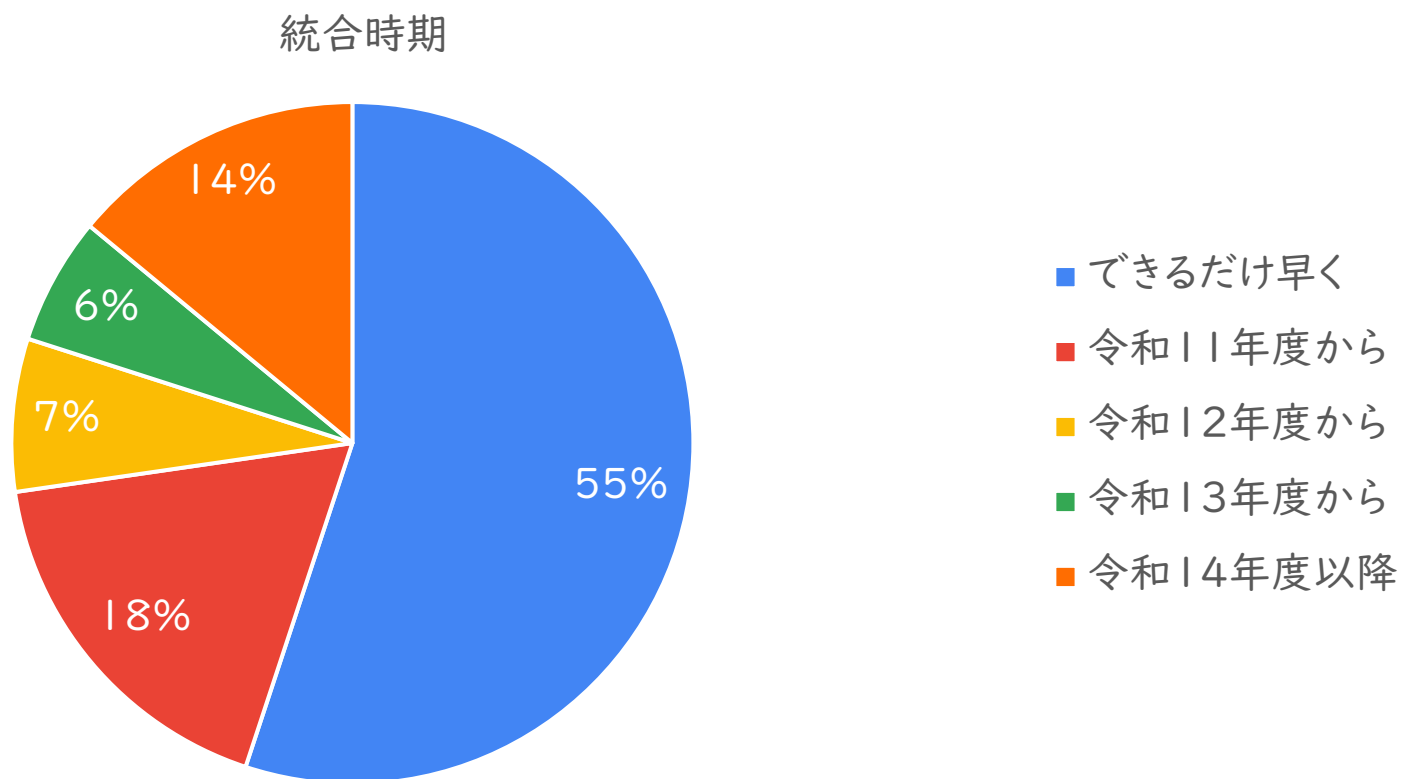


統合に肯定的な意向の方のうち

75.0%が統合後に使用する学校（校舎）は榛原小学校と回答。16%は特に意見はない/どの学校でもよいと回答

統合の時期に関する全体的な希望状況

学校の「統合時期」について、あなたはいつ頃が適当だと考えますか。

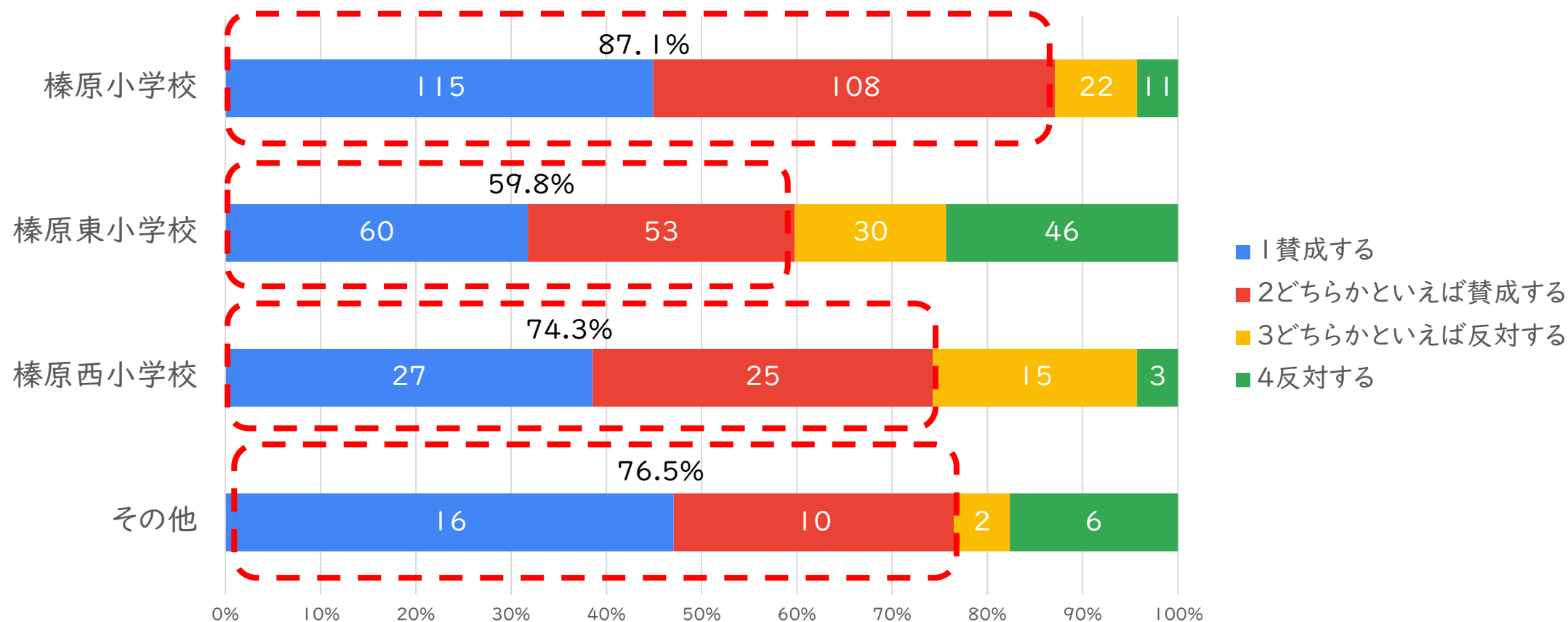


統合に肯定的な意向の方のうち

55%ができるだけ早い統合を望んでいる。18%が令和11年度からの統合を望んでいる

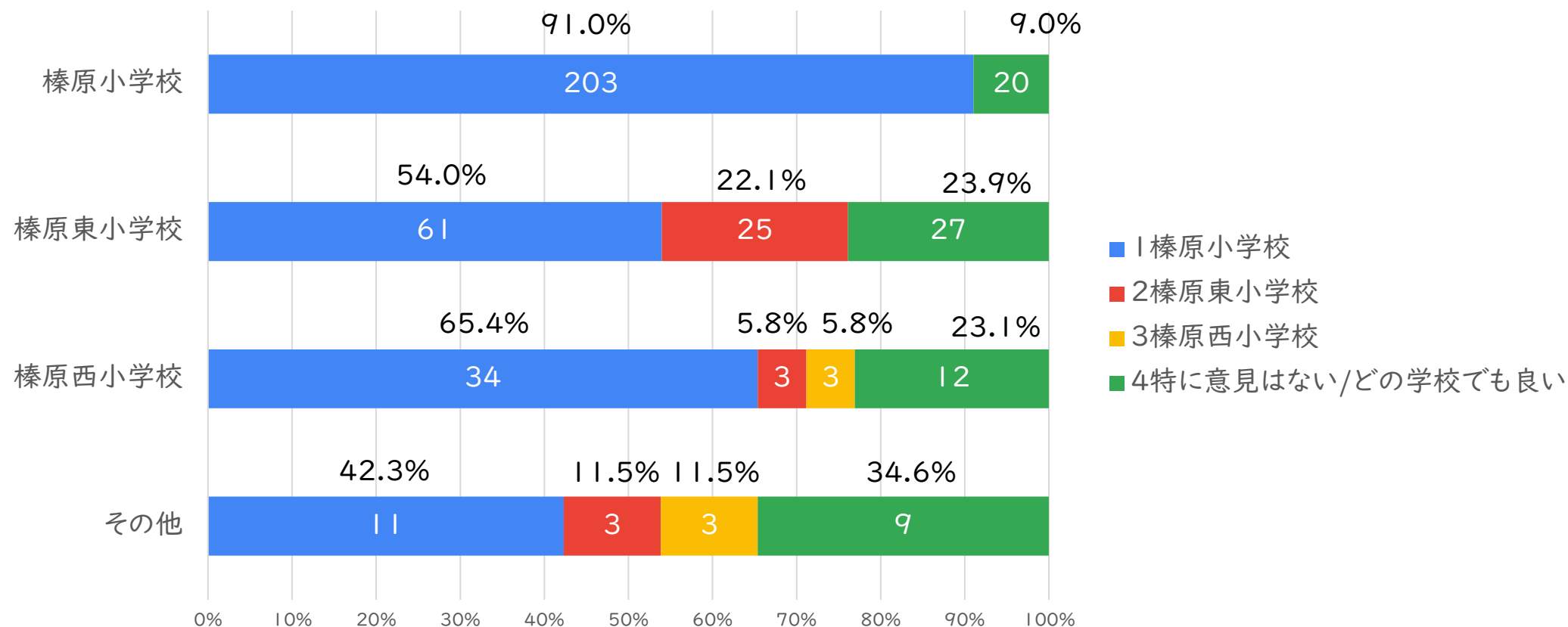
小学校区別の詳細集計結果

【小学校区別】統合に対する賛否の結果比較



榛原小で87.1%、榛原東小で59.8%、榛原西小学校で74.3%が、1つに統合することに肯定的な意向

【小学校区別】統合後に使用する校舎について



統合に肯定的な意向の方のうち

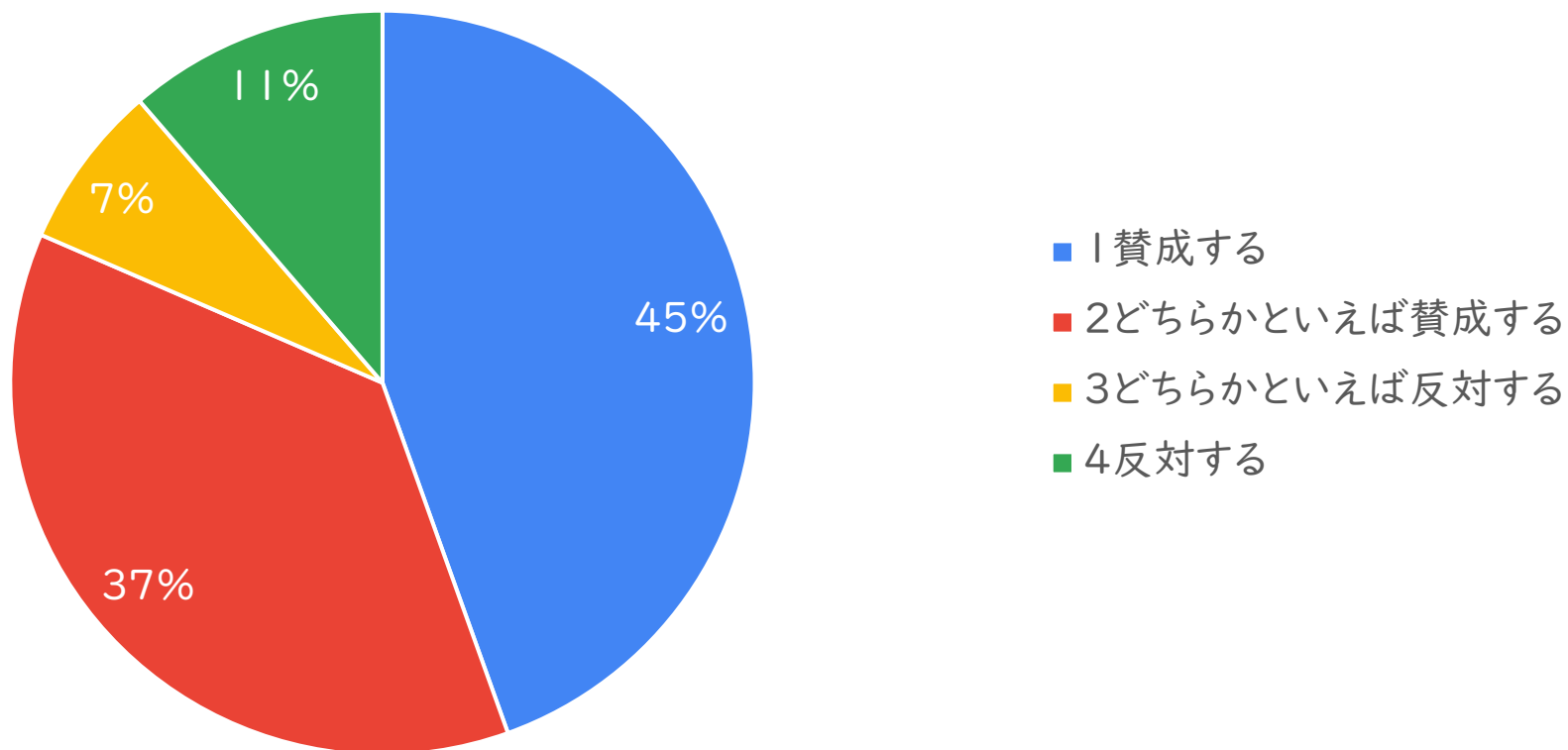
榛原小で91.0%、榛原東小で54.0%、榛原西小学校で65.4%が、使用する校舎は榛原小と回答

榛原小で9.0%、榛原東小で23.9%、榛原西小学校で23.1%が、どの校舎でもよい(特に意見はない)と回答

就学前の保護者における集計結果

【就学前の保護者】統合に対する賛否の結果比較

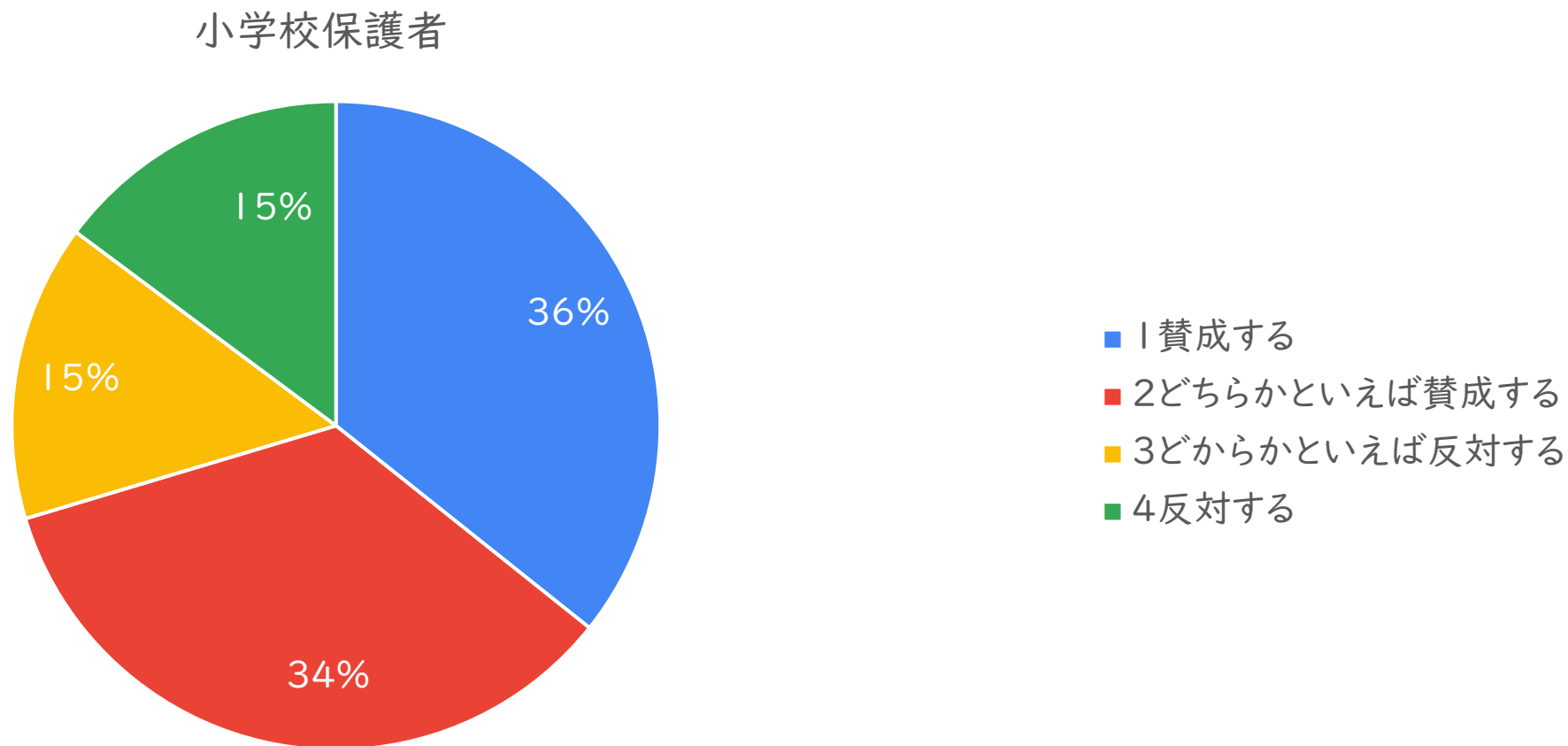
就学前保護者



就学前の子どもをもつ保護者のうち82%が、1つに統合することについて肯定的な意向

小学生の保護者における集計結果

【小学生の保護者】統合に対する賛否の結果比較



小学生の子どもをもつ保護者のうち70%が、1つに統合することについて肯定的な意向

意見の詳細

統合に「否定的な意向」の方の意見と懸念

1 少人数教育の維持とメリット

- 少人数だからこそ教員の手が一人ひとりに行き届き、きめ細かな指導やケアが可能であるという意見が多く見られる。
- 児童数が増えることで教員の目が届かなくなり、いじめの懸念や人間関係の希薄化、環境の変化によるストレス（不登校リスク等）を心配する声が挙げられている。

2. 通学・安全面および保護者の負担

- 徒歩通学ができなくなることや、バス通学に伴う事故リスク、児童の体力低下への懸念が挙げられている。
- 統合先とされる校舎周辺の道路が狭く、送迎時や緊急・警報発令時の渋滞・事故リスクが懸念されている。
- 学童や行事の際の駐車場不足、経済的負担（制服やバス等）への指摘もある。

3. 地域コミュニティ・過疎化への影響

- 小学校がなくなることによって地域の過疎化や空き家化がより一層加速するという危惧が示されている。
- 廃校後の校舎の活用方法や、災害時・避難場所としての機能低下を懸念する声がある。

統合に「否定的な意向」の方の意見と懸念

4. 行政の手続き・説明不足に対する不満

- スクールバスの運用、送迎・駐車場対策、学童保育の受け入れ体制など、具体的な課題解決策が示されないまま進められていることへの不安・批判がある。
- 住民や保護者への説明が不十分であり、一方的に決定・推進されているように感じられる点や、まずは移住・定住促進対策を講じるべきだという意見が出されている。

5. 統合の時期や方法の再検討

- まだ各校に相応の児童数が残っており、現時点で急いで統合する必要はないという意見がある。
- 一気に全校を1つに統合するのではなく、児童数の推移を見ながら段階的に進める案（例：榛原小と榛原西小の先行統合など）や、老朽化を踏まえた新校舎建設を望む声も挙げられている。

統合に「肯定的な意向」の方の統合場所についてのご意見

1. 榛原小学校を支持する理由

- 榛原地域の中心部に位置し、駅や市役所、図書館などの公共施設に近いこと、また周辺に商店や交番があり防犯上も安心できる点が挙げられている。
- 三校の中で最も児童数が多く、統合後も徒歩で通える児童の割合が一番高いため、交通・送迎の負担を抑えられるという意見がある。
- 体育館が最も新しく、耐震性や災害時の避難場所としての機能、運動場や校舎の規模が比較的整っている点が挙げられている。

2. その他の校舎や新校舎建設を望む理由

- 校舎や運動場の広さ、自然豊かな教育環境、周辺の交通量や安全性を評価する意見がある。また、榛原小学校周辺は道幅が狭く送迎やバスの運行・駐車に問題があるため、環境が整った学校やバスが出入りしやすい場所を推す声がある。
- 既存校舎の使い回しでなく、子どもの安全や地域振興・環境配慮を見据え、宇陀市の象徴となるような新校舎を一から建設してほしいという意見も提示されている。

統合に「肯定的な意向」の方の統合時期についてのご意見

1. 「できるだけ早く」を求める理由

- 特定の学校で1学年の児童数が極端に減少することへの危機感から、多様な人間関係や集団教育（運動会やクラス替えなど）を早く保障すべきという意見が非常に多く見られる。
- すでに「榛原こども園」で一元化されたため、小学校で一度別々になり、中学校で再び合流するのは不合理であり、子どもの環境適応や友だち関係の分断を防ぐためにも早期統合が望ましいという意見がある。
- 教員不足への対応や学校施設の二重維持（エアコン整備や老朽化対策等）などのコストを抑え、教育環境へ集中的に予算を投入すべきだという指摘がある。

統合に「肯定的な意向」の方の統合時期についてのご意見

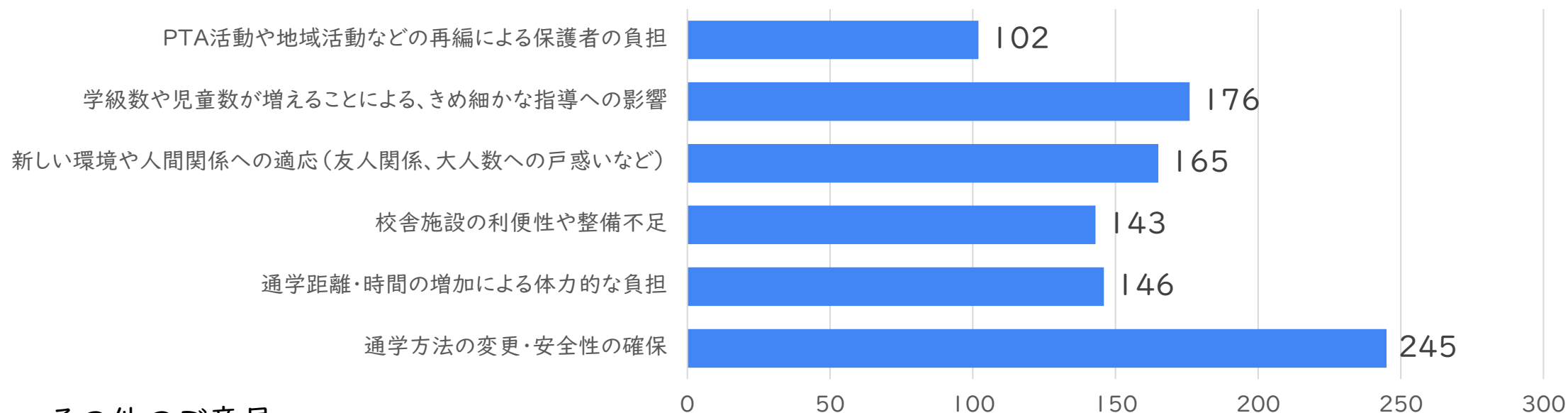
2. その他の時期を求める理由

- 榛原地域全体の児童数が300～400人を下回り、校舎の収容能力や1クラスあたりの人数が適正になる時期を見極めるべきだという意見がある。
- スクールバスの路線・停留所決め、学童保育の受け入れ体制、周辺道路の安全確保、PTA組織の再編など、課題への解決策や合意形成が整ってから進めるべきだという意見もある。
- 途中で急激に環境が変わることによる子どものストレスや不安（特に高学年や感覚過敏・不登校傾向のある児童への影響）を懸念する声がある。
- 複式学級や極端な減少にならない限りは現状の規模を維持してほしいという意見がある。

統合に「肯定的な意向」の方が抱く懸念・心配な点

(数値は回答数)

統合による影響や懸念点(複数回答可)



その他のご意見

- スクールバスと徒歩通学の児童との交通事故を防止できる体制
- 一部の親との関わり
- 学童保育の体制
- 地域が広くなるため、PTA役員の地域の偏りは将来的に必ず出てくると思う。それを踏まえての初年度から活動の簡素化も図っていく必要があると思う。
- 統合後、自宅でも授業が受けられるようにしてほしい。(体調不良の回復期など)

統合後の教育環境等の市へのご要望・ご意見

1. 教職員の配置・学習支援体制の充実について

- 1クラス当たりの児童数増加に対する不安。1クラスの人数の配慮、担任の負担軽減、加配教員・学習支援員等の積極的な配置の要望が多くある。
- 支援学級や発達特性のある児童、不登校傾向にある児童への丁寧なフォロー体制の維持・充実を望む声がある。
- 教員の指導力や対応力の向上、ゆとりを持って子どもと向き合える労働環境の確保に関する意見がある。

2. 児童の心理的ケアと移行期間の配慮について

- 急激な集団環境の変化による不安やストレスに配慮し、統合前からの十分な事前交流事業の実施や、困った時に相談できる窓口・体制の整備の要望がある。
- 統合時に「校舎移動になる児童」と「既存校舎の児童」との間で温度差や偏見（対立意識）が生じないように、配慮した指導やクラス分けを求める声がある。
- 統合後に使用しなくなる校舎の劣化を懸念し、卒業生や地域にとって大切な施設として有効な跡地利用・活用計画を検討してほしいという声がある。

統合後の教育環境等の市へのご要望・ご意見

3. 通学・安全面および学校施設の整備について

- スクールバスの導入にあたって、車内置き去り防止対策や乗降場所の安全確保の徹底を求める声がある。また、徒歩・自力通学範囲の広がりに伴う登下校時の見守り強化の声がある。
- 児童数増加に対応したトイレの洋式化・整備や、暑さ対策（エアコン整備）、防犯カメラの設置などが挙げられている。
- 保護者の自家用車送迎時の安全性の確保や、運動会・参観日等の学校行事における駐車場確保・交通混雑緩和への対応が要望されている。

4. 学童保育やPTAの運営について

- 共働き世帯の増加を踏まえ、統合後も全員が利用できるよう定員枠の確保や施設の整備・増築、利用条件の改善が強く求められている。
- 統合を機に、保護者の負担となっているPTA活動や地域行事の精選・簡素化も進めてほしいという声がある。

5. 行政の議論の進め方・方針決定に対する意見

- 子どもたちの教育環境や多様な人間関係の保障を第一に考え、迷わずに早期統合を断行・リードしてほしいという要望が多数ある。
- 財政的な試算（統合による効果額等）の開示や、今後の具体的なスケジュール、通学計画などについて、保護者・地域住民へ透明性を持った丁寧な説明を求める声がある。